

菊陽人 りさーち



あかほし すぐる
赤星 英くん
(11歳・杉並台)

- 趣味 ゲーム
- 将来の夢 アジアリーガー
- 今一番やりたいこと スケーティングを上手にできるようにになりたい
- みんなに伝えたいこと アイスホッケーは全部楽しいのでやってみてください

「菊陽人りさーち」に掲載を希望する人は、はがきに「氏名」「年齢」「住所」「連絡先(昼間)」を明記し、〒869-1192菊陽町役場総合政策課「菊陽人りさーち」係までお送りください。
注)掲載対象は、小学生以上で菊陽町に居住している人に限ります。親子、祖父母と孫など2人1組での掲載もできます。掲載が決まりましたら、こちらからご連絡します。



あかほし めい
赤星 明さん
(9歳・杉並台)

- 趣味 ディズニー映画を見ること
- 将来の夢 プロのアイスホッケー選手
- 今一番やりたいこと 後ろに滑れるようになりたい
- みんなに伝えたいこと アイスホッケーをぜひ一度やってみてください

人権のひろば

◇印からの文章は、先生のコメントです。

人権標語

- 「いじめ見て 見て見ぬふりも加害者です」 菊陽中部小6年 宮川ユキエ
- 「いじめはね 悲しい人の 心だよ」 菊陽中部小6年 中本 響り 明莉

子どもの目、子どもの声
人権
作文シリーズ
【No.59】

問い合わせ
人権教育・啓発課
☎232-2113

もちつきをしたよ

白鈴園 糸賀 翔(6歳)



「いじめを見て見ぬふりも加害者です」
「いじめはね、悲しい人の心だよ」
ママが「あいが」といって言ってくれた。ばあちゃんにもあげたよ。ばあちゃんも、病院にいるよ。ぼくが行くよ、涙が出るよ。喜んでくれるよ。
日曜日の朝にパパと一緒にばあちゃんに会いに行くよ。早く、おうちに帰ってきてほしいな。

じいちゃんとパパと僕でもちつきに行った。公園であった。近所のおじちゃんたちもいたよ。ママはおうちでお掃除をしていたよ。おもちを食べたよ。あんなの味。一個だけ食べて六個持って帰った。パパとじいちゃんと僕でぺったんつてしたよ。
楽しかった。
ママが「あいが」といって言ってくれた。ばあちゃんにもあげたよ。ばあちゃんも、病院にいるよ。ぼくが行くよ、涙が出るよ。喜んでくれるよ。
日曜日の朝にパパと一緒にばあちゃんに会いに行くよ。早く、おうちに帰ってきてほしいな。

人権標語

ばあちゃん、早く治ってね



◇地域の餅つきに家族で参加して楽しかった様子が分かります。たくさんの人と食べる餅はおいしかったことでしょうか。
休みの日には、大好きなおばあちゃんのお見舞いに行った事を保育園でよく話をしてくれます。
いつも、温かく優しく見守ってくれているおばあちゃんが早く治って家に帰って来てくれることを願っているようです。



- 菊陽中部小学校
- たくさん笑顔が輝く学校へ 6年 松本 彩伽
 - 声をかけて 友だちつくるよ 6年 横山妃奈乃
 - いじめより 笑顔の方が最高だ 6年 津村 美咲
 - なくすため正しく学び教えよう 6年 松元 美羽
 - いじめを見たら注意しよう みんなの笑顔を守るため 6年 島田 彩圭
 - みんなで笑顔を増やそうよ 幸せいつぱい実るかも 6年 藤田 眞鈴

人権ってなあに シリーズ③

誰にでも人権があることや人を傷つけてはいけないことなどを、小さい頃から学び、身に付けていくことは大切です。法の下の平等や基本的な人権の尊重は当たり前。しかし、その平等や基本的人権という概念や知識がなかったらどうでしょう。

子どもが売買されたり、女性が物として扱われたりなど、世界にはまだまだ人権が根付いていない国や地域がたくさんあります。さまざまな報道を通じて、そのような地域の悲惨な状況はその一端が紹介されるのでご存じの人も多いでしょう。

私たちは「人権教育」や「社会教育」を通して、お互いの人権の大切さを学んでいます。教育の果たす役割は重要です。人間の長い歴史に比べると「人権」の歴史は短いものです。それぞれの時代の権力を持った人が行った政治で、国が安定したり豊かになった面はありますが、差別や偏見を植え付けた負の面もあります。これからは生きる私たちは、具体的な事実や歴史を学ぶことで、間違ったものの方や考え方を正して、誰もが大切にされる社会、人権と平和が大切にされる世界をつくっていきましょう。

菊陽句会報

きくよう文芸

千年の女三代初笑い	井 子文	玉串を供えて卒寿の初御空	宮川ユキエ
松明けて音なき独居戻りたる	財津 早雪	揃はねど七草粥を神仏へ	日高 妙子
去年今年夫の变身厨かな	原野レイ子	御慶とも番ひの鳩の窓覗く	曾我 育代
初鶏や鳴きて故郷の遠きかな	カ 幸子	注連作る記憶藁槌弾む音	曾我トモ子
御無沙汰を余白に詫びて賀状書く	寺尾千代子	瑞雲に乗りて初日の現るる	紫藤 祥子
蠟梅の小さき宇宙のほどけゆく	高橋 孝子	火の山を要と据へてたか舞へり	村上 朋子
いま時の羽子板音に外をのぞく	福田 貴子	メール来る我に友あり福寿草	野口 令史
どんどたく高く高く火のはしご	佐藤 健	冬の虹消えて散歩を終りとす	松橋 強
きらきらと日脚まぶしき初日の出	佐藤 節	公園の落葉を掃きつ子等迎ふ	藤本 純子
帰郷してやはり吾が家の雑煮かな	吉野 早苗	寒卵割りて弱音を弾きたる	佐藤 澄世
根子岳を真つ正面に初湯かな	井上久美子		

短歌会

昨日より白川の水増して見ゆ阿蘇の麓に雨の降りしか
雲低き曇天続きの冬空も夕方晴れたり明朝凍るか
長きとも短かかりとも言ひがたき八十六年生きてはるけし
葦枯るる霧たつ水際を鶺鴒は尾を振り動く静もる朝に
阿蘇嶺の煙南に棚引きて夕日にしばし淡く色付く
空港へ行く道沿いに咲き盛る赤き山茶花一際目をひく
汲み置きし若水をすくい入日に埋火おこして一服点てる
襟正し頑張りますと若者は職内定に頬をあからむ
かじかめる手に鳴らしゆく拍子木の音冴え冴えと路地に響きぬ
夜をこめて囃子と舞ひを合はすなり小学生は玉を手を持ち

- 今村 貞子
- 梅田 國雄
- 河北 幸一
- 菊川あさみ
- 佐藤せい子
- 下田 久子
- 松岡富紀子
- 中村トシエ
- 山川 カヅ
- 松本 東亜